

# 子どもの事故を防止しよう

## 《日常生活における事故》

令和2年中は、127,382人が日常生活の事故で救急搬送されています。

その中でも、5歳以下の子ども(乳幼児)と高齢者の救急搬送人員が多くなっています(図1)。乳幼児は危険に対する認識が乏しく、危険を回避する能力が未熟です。家族など周囲の人が、過去にどのような事故が発生しているかを知り、事前に対策をとることで、重大な事故から子どもを守りましょう。

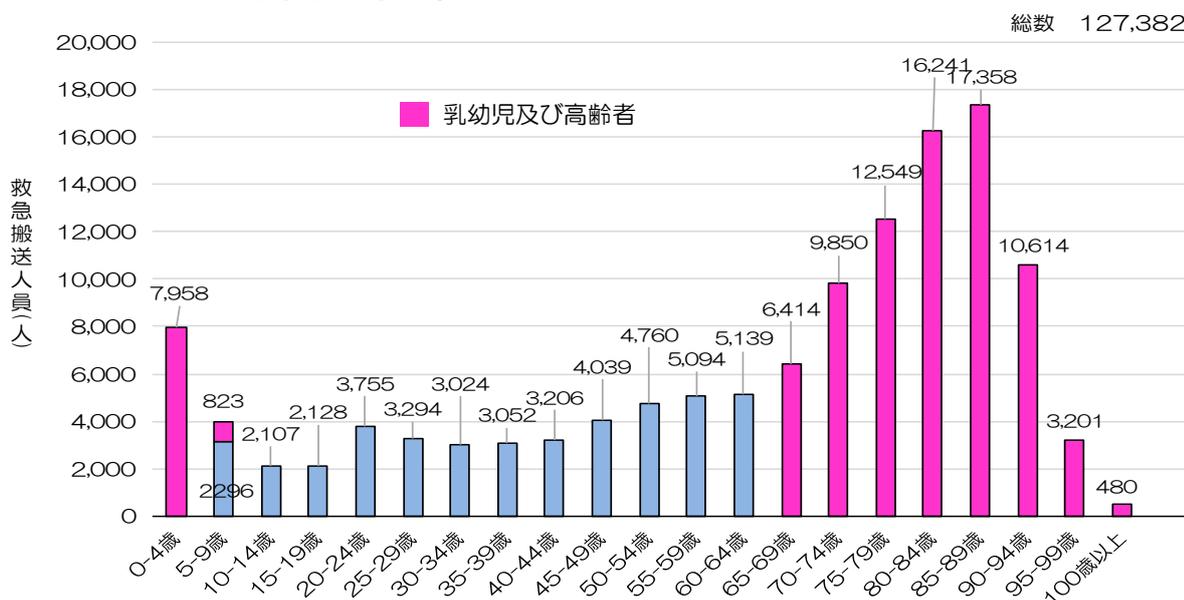


図1 年齢層(5歳単位)別の救急搬送人員(令和2年中)

## 《乳幼児の事故発生状況》

平成28年から令和2年までの5年間に47,178人の乳幼児が救急搬送されました(図2)。

令和2年中の救急搬送人員を年齢別にみると、1歳が最も多く、次いで2歳となっています(図3)。

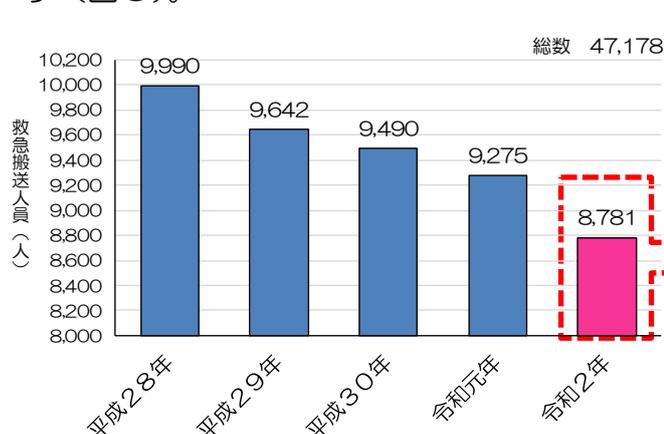


図2 乳幼児の年別救急搬送人員

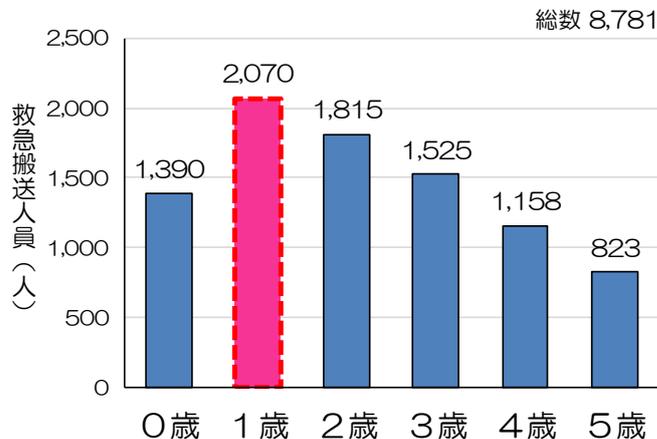
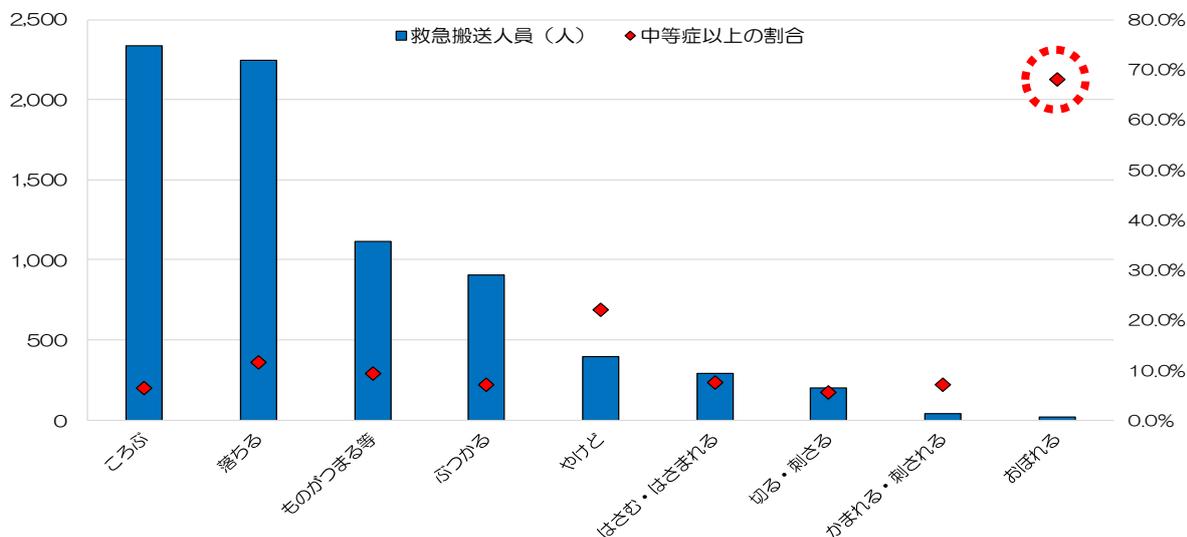


図3 年齢別救急搬送人員(令和2年中)

## 《乳幼児の事故種別と中等症以上の割合》

乳幼児に多い事故と入院が必要とされる中等症以上の割合をみると、救急搬送が多いのは「ころぶ」事故、「落ちる」事故となっています。

また、中等症以上の割合は、「おぼれる」事故が最も高くなっています（図4）。



事故種別	ころぶ	落ちる	ものがつまる等	ぶつかる	やけど	はさむ・はさまれる	切る・刺さる	かまれる・刺さる	おぼれる
救急搬送人員	2,338人	2,248人	1,113人	904人	394人	289人	201人	42人	22人
中等症以上の割合	6.5%	11.5%	9.3%	7.1%	22.1%	7.6%	5.5%	7.1%	68.2%

※ 事故種別が「その他」、「不明」を除く。

※ 中等症以上とは、軽症を除いた、中等症、重症、重篤及び死亡をいう（軽症：入院を要しないもの、中等症：生命の危険はないが入院を要するもの、重症：生命の危険の可能性のあるもの、重篤：生命の危険が切迫しているもの、死亡：初診時死亡が確認されたもの）。

図4 乳幼児の事故種別と中等症以上の割合（令和2年中）

## 自宅の浴槽での「おぼれ」

おぼれた場所の第1位は、自宅の浴槽です。

こんな事故が起きています！

【事例】少し目を離した際に・・・

親が着替えの準備のために1分ほど浴室から出ており、戻ってきたところ浴槽内で子どもが水没していた（程度：中等症）。



「おぼれ」による事故を防ぐために

- 乳幼児をお風呂に入れているとき、水遊びをさせているときは、決して目を離さないようにしましょう。
- 子どもだけで浴室に入れないようにしましょう。

## 「はさまれ」

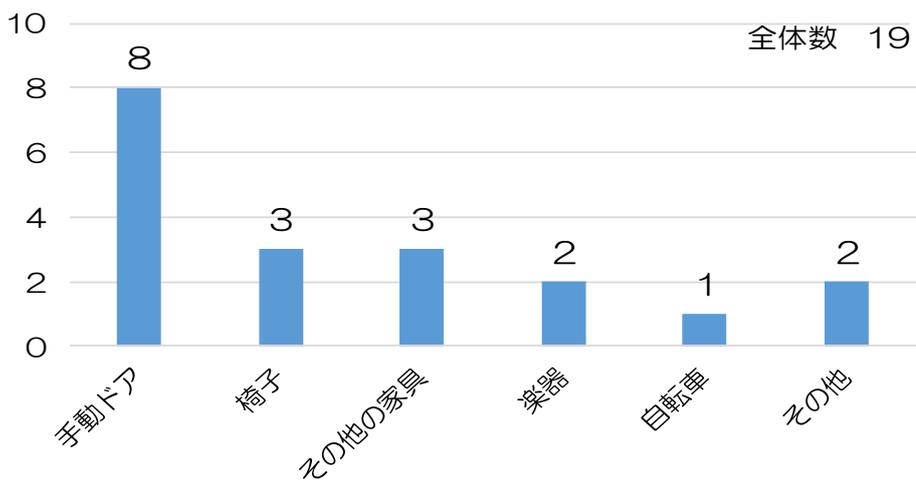
子どもの手や足などがはさまれる事故が多発しています。

年齢 \ 順位	1位	2位	3位	4位	5位
0歳	手動ドア	寝具類	椅子、その他の家具		その他
	5人	4人	各2人		各1人
1歳	手動ドア	エレベーター	椅子	自転車、その他の家具	
	47人	8人	5人	各4人	
2歳	手動ドア	エレベーター、自転車、鉄道車両の戸袋			窓、柵
	31人	各5人			4人
3～5歳	手動ドア	自転車	自動車のドア、その他の玩具		椅子
	37人	25人	各5人		3人

- ※ その他の家具とは、棚、引出し、タンス等をいう。
- ※ その他の玩具とは、万華鏡、おもちゃの電車のレール等をいう。
- ※ その他とは、ベビーカー、カバン、冷蔵庫等をいう。

図5 年齢別のはさまれ事故の原因上位5位（令和2年中）

指等を切断する事故も発生しています。



- ※ その他の家具とは、タンス、棚等をいう。

図6 関連器物別 5歳以下の子どもの指の切断状況（平成30年～令和2年中）

### こんな事故が起きています！

#### 【事例1】ドアで・・・

5歳の子どもがドアと縦枠の間に指を入れており、親がドアを開けた際にはさまり切断した（程度：軽症）。

#### 【事例2】タンスで・・・

2歳の子どもが、友達とタンスの扉を開け閉めして遊んでいる際に、指をはさんで切断した（程度：中等症）。

このほかにも、電車のドアやエレベーターの戸袋、自転車のスポークなどにはさまれる事故が起きています。



### 「はさまれ」による事故を防ぐために

- ドアの開閉時は、子どもがどこにいるか確認しましょう。
- ドアの蝶番側は、指はさみ防止グッズなどでカバーしましょう。
- エレベーターやエスカレーター付近では遊ばせないようにしましょう。

## 「やけど」

味噌汁やお茶などの熱い液体でのやけどが多くなっています！

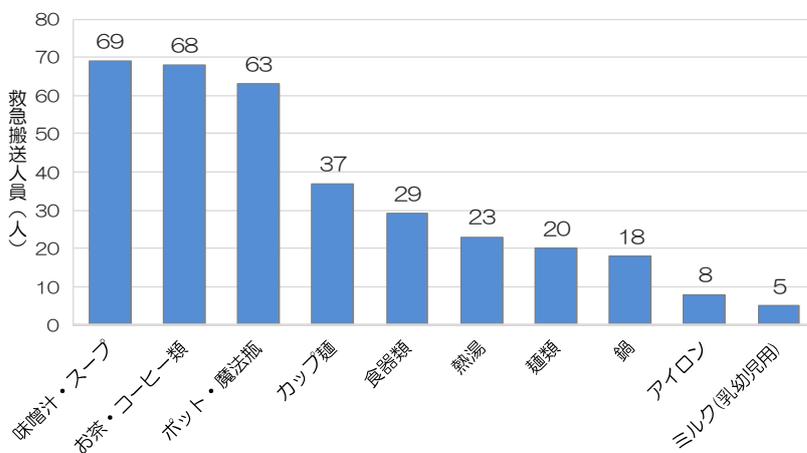


図7 やけどの事故が多かった要因（令和2年中）

### こんな事故が起きています！

#### 【事例1】炊飯器の蒸気で・・・

1歳の子どものが炊飯器の上に手を置いてしまい、蒸気の熱でやけどした（程度：中等症）。



#### 【事例2】アイロンで・・・

親が使い終わったアイロンをテーブルの上で立てて冷ましていたところ、1歳のこどもが触ってしまいやけどした（程度：軽症）。



### 「やけど」による事故を防ぐために

- やけどのおそれのあるものは、子どもの手の届くところに置かないようにしましょう。
- 子どもを抱いたまま、調理をしないようにしましょう。
- 熱い食べ物等は、冷ましてから子どもに食べさせましょう。

## 窓やベランダから「落ちる」

### 住宅の窓やベランダから落ちる事故が繰り返し起きています！

平成28年から令和2年までの5年間に、5歳以下の子ども66人が、住宅等の窓やベランダからの墜落により医療機関に救急搬送されています。高所からの墜落は、生命に危険を及ぼす可能性が高く、十分注意が必要です。

※1階からの墜落を除く。

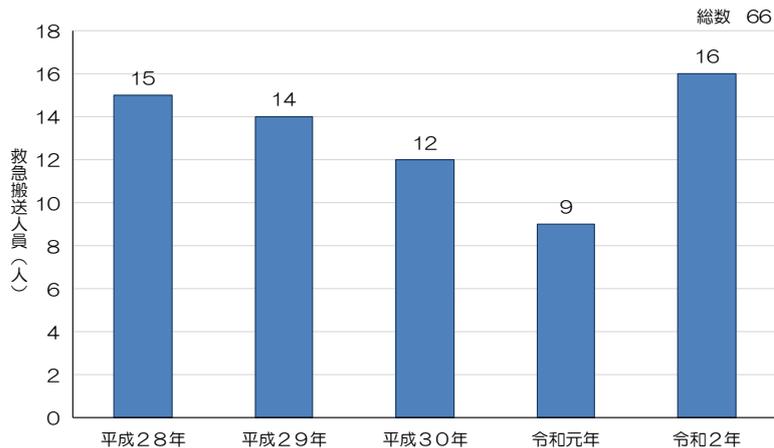


図8 年別救急搬送人員



### こんな事故が起きています！

#### 【事例1】

2歳の子どものベランダの柵の間隙を通り抜けてしまい、地上に墜落した（程度：中等症）。

#### 【事例2】

3歳の子どもの、自宅2階居室内の窓際に置かれたソファに上り、窓から地上に墜落した（程度：中等症）。

### 窓やベランダから「落ちる」事故を防ぐために

- ベランダを子どもの遊び場にしないようにしましょう。
- エアコンの室外機、植木鉢などを置く場所には注意しましょう。
- ベランダへの出入口の窓などには、鍵を二重に設ける等の措置を講じましょう。
- 定期的到手すりにガタつきや腐食などがいないか、確認しましょう。

出典：東京都生活文化局消費生活部生活安全課  
子供のベランダからの転落事故に注意！リーフレット

気をつけよう！日常生活事故（乳幼児編）



(YouTube 東京消防庁公式チャンネル)



動画はこちらから  
ご覧いただけます。



※ 子どもの事故について更に詳しく知りたい方は下記のワードで検索！

東京消防庁 子どもの事故

検索



# 《病院？救急車？迷ったら「電話でも！ネットでも！#7119」》

## 1 「#7119」東京消防庁救急相談センターについて

東京消防庁では、急な病気やケガで「今すぐ病院に行ったほうがいいのかな？」「救急車を呼んだほうがいいのかな？」など迷った際の相談窓口として、東京消防庁救急相談センターを開設しています。

救急相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者等の職員）が、医療機関案内と救急相談に24時間・年中無休で対応しています。

「#7119」は携帯電話、PHS、プッシュ回線からご利用いただけます。

その他の電話は、23区は03（3212）2323、多摩地区は042（521）2323からご利用ください。

病院？ 救急車？ 迷ったら…

# #7119

---

**電話で相談**  
東京消防庁救急相談センター

**ネットでガイド**  
東京版救急受診ガイド

こちらからも  
つながります

**23区** 03-3212-2323

**多摩地区** 042-521-2323

東京消防庁

東京都医師会

東京都福祉保健局

---

知ろう 使おう #7119 (作者 古川 康平さん 府中市在勤)

## 「#7119」のしくみ



## 2 東京版救急受診ガイド（日本語・ウェブ版、冊子版）について

急な病気やケガをした際に、「今すぐ病院に行くべきか」、「救急車を呼ぶべきか」迷った時に自ら緊急性の判断ができる「東京版救急受診ガイド」を東京消防庁ホームページ上で提供しており、パソコン、スマートフォン、携帯電話から利用することができます。

「東京版救急受診ガイド」は、59の症状から該当する症状について、利用者自らが質問に答えることで、ご自身の症状の緊急性や受診科目、受診する時期などを確認できます。

なお、インターネット環境を持たない都民向けに冊子版も提供しています。

「東京版救急受診ガイド」をいつでも利用できるように、東京消防庁公式アプリのダウンロードや下記のQRコードを携帯電話またはスマートフォンで読み取り、登録しましょう。



## ウェブ版の利用方法・サービス内容

スマートフォン・携帯電話やパソコンから東京消防庁ホームページにアクセスして『東京版救急受診ガイド』をご利用ください。

<3つのアドバイスを提供>

- けがや病気の緊急性
- 受診する時期
- 受診する科目

※ リンクから受診可能な病院検索もできます。

※ 緊急性があると思われる場合は、**ためらわず救急車（119番）をお呼びください。**



- |   |                     |
|---|---------------------|
| 赤 | 救急車を要請（今すぐ119番へ）    |
| 橙 | 今すぐに受診（1時間以内に病院へ）   |
| 黄 | これから受診（6～8時間以内に病院へ） |
| 緑 | 明日には受診（24時間以内に病院へ）  |

ウェブ版・冊子版ともに、チェックした質問により病気やケガの緊急性などのアドバイスを確認できます。

スマートフォン  
はこちらから



携帯電話は  
はこちらから



## 3 東京版救急受診ガイド（英語・ウェブ版）について

都内で外国の方が急な病気やケガをした際に安全・安心を提供するツールとして、東京版救急受診ガイド（英語・ウェブ版）を当庁ホームページで提供しています。

東京版救急受診ガイド（日本語・ウェブ版）と同様に、59の症状について、利用者自らが質問に答えることで、ご自身の症状の緊急性や受診科目、受診する時期などを確認できます。

東京版救急受診ガイド（英語・ウェブ版）パソコン・スマートフォン用URL

[https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-kyuuumuka/en\\_guide/main/index.html](https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-kyuuumuka/en_guide/main/index.html)

